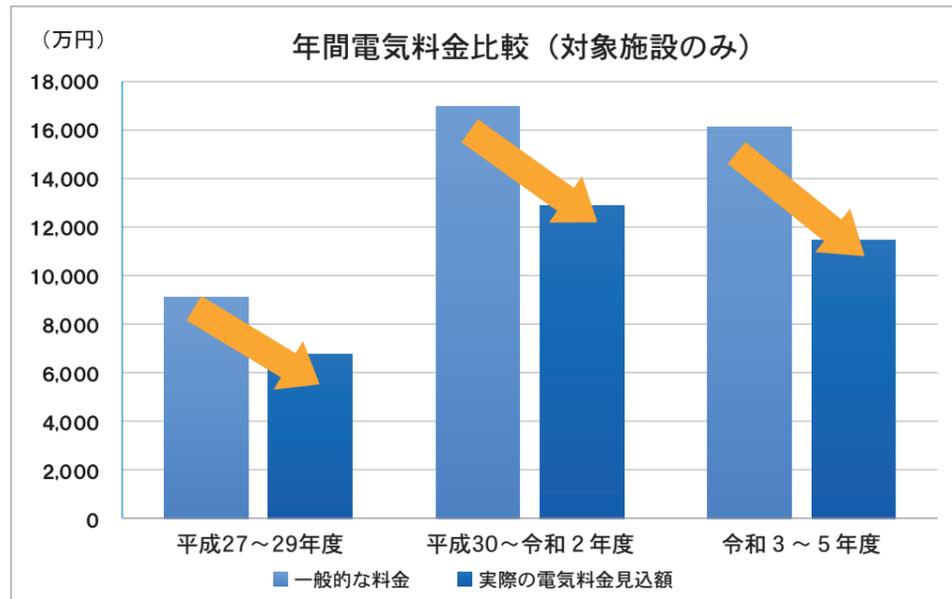


下妻市の公共施設についてお知らせします 公共施設マネジメント通信 vol.7

入札により電気事業者を選ぶことにより、一般的な電気料金と比べ、平成27～29年度で2,370万円/年、平成30～令和2年度で4,077万円/年、令和3～5年度で4,626万円/年の削減となり、平成27年度から令和5年度までの9年間で、約3億3千万円の電気料金が削減される見込みとなっています。



※年度により対象施設が違うため、電気料金総額に差があります。

ポイント 平成27年～令和5年で約3億3千万円の削減



光熱水費削減や環境に配慮したエネルギー調達を進めていく必要があります。市は今後も、継続して取り組みを実施していきます。

■市有地の利活用について

市では、市有地の利活用について、サウンディング型市場調査(事業者との直接対話型市場調査)を実施しています。当調査では、事業者の皆様のご意見を広く募集しています。対象物件などの詳細については、市役所HPをご覧ください。財政課までお問い合わせください。

市役所HP > [市政情報](#) > [官民連携](#) > [サウンディング型市場調査](#)
<https://www.city.shimotsuma.lg.jp/page/page002274.html>

問 財政課 ☎43-2235 FAX 43-4214

このコーナーでは、これまで公共施設マネジメントについての様々な取り組み、考え方についてお知らせしてきました。第7回目の今回は「市の公共施設マネジメントの取り組み」についてお知らせします。

公共施設を最大限に有効活用し、市民の負担をできる限り減らしていこうという考えに基づき、市は、次のような取り組みを進めています。

1 自動販売機設置場所の貸し付け

本市では、人口減少や少子高齢化の進行などにより、財政状況が悪化することが想定されています。このことから、限られた財源をより有効に活用するため、公共施設を経営財産と捉え、より自由な発想で有効活用していくことが必要となります。

そういった取り組みの中の一つとして、民間企業による公共施設での自動販売機の設置があります。競争入札による設置場所の貸し付けをすることで、市の歳入増を目的としています。

■令和2年度貸し付け実績

設置施設	設置台数	貸付料収入
市役所、体育館、公民館 など 18施設	39台	636万円

プラス 災害時拠点となる施設に設置している一部の自動販売機については、設置事業者との協定書をもとに、災害時に自動販売機の商品を無償提供することが可能となっています。



災害時対応型自動販売機▶

2 公共施設の電力の調達

現在、電気の小売業への参入全面自由化により、消費者側が自由に電力会社を選ぶことが可能です。

市では、公共施設の光熱水費削減の観点から、市が所有する公共施設において、入札により電気事業者を選ぶことで、より安い電気料金を選択し、支出の削減につなげています。

この取り組みは、平成27年度から実施し、当初は高電圧受電施設23施設だけでしたが、平成30年度調達時は、低電圧受電施設を含めた66施設に対象を広げ、現在、支出削減効果の高い全ての公共施設において入札を実施しています。(下表参照)

年 度	対 象 施 設
平成27～29年度	市役所、小中学校、体育館 等
平成30～令和2年度	上記 + ふるさと博物館、図書館 等 + 低電圧受電施設
令和3～令和5年度	同 上